



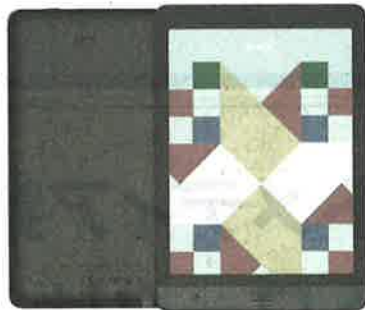
# 目利きが斬る



森谷 健一

電子ペーパーは直射日光下でも見やすく、目が疲れにくい。カラー原稿が表示できないので物足りないと思う人が多かろう。オニキスインターナショナルが発売した「ブックス ノバ3カラー」は、そういった常識を覆す製品だ。

## オニキスインターナショナル 電子ペーパー「ブックス ノバ3カラー」



本製品は最新のカラー電子ペーパー「カレイドプラス」を搭載しており、4096色を再現できる。画面サイズは7.8型、重量は265gで、液晶タブレットより軽く感じる。OS(基

## カラーで線、11色用意

総合評価	78	100点
読みやすさ	16	
書きやすさ	18	
動作速度	14	
カラー表示	14	
価格対性能比	16	

本ソフト)には最新の「アンドロイド10」を採用しており、アプリは自由にインストールできる。ただ、実用的に使えるアプリは限られる。例えば、動画の視聴はほぼ無理だ。手書きメモには内蔵のメモアプリと付属のワコム製デジタルペンを利用するのが一般的だろう。素早くペンを動かしたときに若干追従性の問題を感じ

じるが、我慢できるレベルだ。なんとと言ってもカラーで線が引けるのがいい。黒やグレー以外に11色が用意されている。どんな線を描くかは、ペンや鉛筆、マーカーなどから選ぶことができ、太さも自由に決められる。レイヤーが使える、4096段階の筆圧検知機能も搭載している。簡単な絵を描くのに使えそう。ただしカラーと言ってもどんな色でも選べるわけではなく、本製品上での表示色とパソコンなどに取り込んで表示した時の色はかなり異なる。厳密な色の使い分けは難しい。電子書籍を閲覧するには、本製品専用のアプリストアか、Google提供の「プレイストア」のいずれかを利用してアプリをインストールする。後者は安心感があるが、初期設定が必要だ。今回はアマゾンの「Kindle」を試してみたところ、ページめくりの速度は専用端末よりやや遅めだが、気にならないレベルだ。文字の美しさも遜色なく、モノクロの文字中心の本やコミックは、特にストレスなく閲覧できた。価格は5万1800円。液晶タブレットとほぼ同じ価格帯で、買いやすい。手書きメモや電子書籍閲覧用のタブレットがほしいなら、十分検討に値する。(テクニカルライター)